

Ⅲ類教養問題[No.32 選択肢3]

障害者を対象とするⅢ類教養問題[No.28 選択肢3]

[ No. ] 平安時代の文化に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 平安時代初期に、唐に渡って仏教を学んだ最澄は、帰国後に真言宗を開き、高野山に金剛峯寺を建立した。
2. 当時の貴族は、畳を敷いて床の間を設けた書院造の家に住み、華やかな色彩の屏風絵やふすま絵で飾った。
3. 極楽浄土への強いあこがれから、当時の貴族は阿弥陀仏の像や阿弥陀堂をつくるようになり、藤原頼道は平等院鳳凰堂を建立した。
4. 日本語を音声どおりに表す「かな文字」が発達し、11世紀には、紀貫之らによって「新古今和歌集」が編集された。
5. 絵画では、中国大陸の文化の影響を受け、合戦物を描いた絵巻物や、墨一色で描かれた水墨画が多くつくられるようになった。